

タットン会 通信

2009.
7. 18

タットン会ホームページ **タットン会** と入力すると検索でき、会の趣旨や開催日時などが確認できます。また、「ボランティアセンター 046 (825) 0017」で、日程を確認することも出来ます。
※ 活動中の写真掲載等をご遠慮なさる方は、事務局員にお申し出ください！（事務局は青バッチです）
(6月の参加費は9,410円 寄付金は700円 計10,110円でした。ありがとうございました)

大きな課題！

ぶつからないように…気を付けて！

県立福祉大学の広い体育館が…とってもせまく感じてきました。6月27日は79回目のタットン会、体育館内は猛暑と共に熱気に包まれながらもバドミントンや卓球の継続回数・試合、また遊びでは、けん玉やボウリングも楽しんでいました。

チャレンジャーさんの参加は33名（過去最高！？）、みなさん和気藹々と良い汗もかきました。

バドミントンは5コート、卓球は10台を用意しています。しかし、バドミントン（写真右上）ではコートに入れず空いているスペースを使って練習をしたり、順番待ちをしながら短い時間に有効に使っていかねばなりません。

このままいくと体育館の外にもコートをつくるなければいけなくなるのか…？
今後の運営の仕方が**大きな課題**と思っております。



ボウリング・ボールの行方は？



「ひろがれ、みんなの和！」 78号にも書かせて頂きましたが、新加入チャレンジャー保護者さんには付き添いをお願いしております。日常ではなかなか経験できない卓球と一緒に楽しんだり、バドミントンの審判をしてみたり、自分のお子さま以外のチャレンジャーと一緒に楽しんだり…大人にとっても初めての体験もたまには良いのではないでしょうか！？

それにより多くの輪が広がり、**大きな仲間の和**が出来ることも楽しみの一つです！！ これからこどもたちのためにも、自分自身の視野を広げるためにも…「疲れた身体をリフレッシュし気持ちの良い汗に」変えていかれたら嬉しいです。

保護者から：タットン会の感想**パンザイをして…構えて！**

※1 コミュニケーションがなかなかとれない息子は、一ヶ月に一度のタットン会を楽しみにしています。今日も、打ち方のコツを教えて頂きかなり上達しました。また、色々な人達とのふれあいで息子も私も勉強になります。



※2 タットン会は楽しみにしています。私とバドミントンをやってもふざけてしまいますが、タットン会だとふざけないでまじめにやっています。身体が硬いので、身体をたくさん動かせたら良いです…。



※3 久しぶりの参加でしたが、たくさんの人とバドミントンで対戦でき、休憩中はけん玉をしたりして息子も楽しんで参加できたようでした。いつも、準備や進行などよくして頂いて頭が下がります…。次回はボランティアで参加したいと思います。

けん玉指導熱心な、伊東さん

※4 …車いすでの卓球が出来ることよい経験になりました。少しずつ慣れて出来てくると思います。楽しく参加できました。ありがとうございます…

※5 …やっていけるかな？と思いましたが、何とかなりそうで～もっと早く来ればよかったかな？と思いました。

感想・参加者カード・気がついたこと！！！ チャレンジャーさん33名参加

- ※1 ころがし卓球、シャトルケースとソフトバレー、ボールを使ったボウリングをやりました。ボウリングはなかなか当たらず苦労しているようでしたが、やついていて楽しそうなのがこちらとしても嬉しかったです。(H様)
- ※2 …点が入ると、すごくいい顔を見せてくれました。負けていても…、楽しそうにやってくれて良かったです。(Y様)
- ※3 …58回ラリーが続きました。前半にすごく頑張ったので、後半は二人ともバテバテになってしましました…笑。(H様)
- ※4 暑くて運動が大変だったけど、良く動きました。…友達もたくさん来ていたので、楽しそうでした。来月もみんなで、遊びましょう！(N様)

余暇活動

パート 38

私は、今年の3月に県立大学を卒業し、4月より市内の病院に看護師として勤務しております。学生という立場を卒業し、まだ3ヶ月しか経っていませんが、失ったものがいとおしく感じるよう「学生に戻りたい」なんて思うこともあります。学生時代は1日を自由に自分勝手に使うことが出来る時間が多く、授業をさぼりバイトに明け暮れるなんてこともあります。休日は自分のやりたいことをやるのに使い、手帳には予定がびっしりなことがよくありました。今思うとこれが学生の特権だったんだなと思います。

仕事をすると確実に拘束される時間があります。それ以外の時間が自分の時間になるわけですが、学生時代は毎日がその時間なわけです。社会人になってからはその自分の時間が貴重だからこそ有意義に使おうと思いつます、学生時代はそんなことは考えずにがむしゃらに使っていました。時間はある分、うまく使えないのが学生の特徴のかな…なんて思います。

「学生は暇」とよく世間は評価しますが、実際は「時間をうまく使えない」からこそ忙しかったりするのが現状ではと私は思います。きっと、私は学生時代ボランティア活動で忙しかったに違いありません。そして、私の時間の使い道としたのがボランティア活動でよかったなど今、つくづく思います。

今年、わが県立大学にはボランティアセンターが出来ました。(実はこのセンター設立を目指す団体に私は所属していました。)このセンターの活動目的のひとつにボランティア活動の啓発があります。自分が、学生時代ボランティアをやってよかったですからこそ、この啓発に今後力を入れてもらいたいなとOGながら思っています。また、学生がこのセンターを運営するからこそ「学生は忙しい」という現状を踏まえ、「どうすればボランティア活動に参加してもらえるか」を考えていってもらえばと思っています。

ただ、なにぶん、今年からの開設であり、これからが本格始動となるでしょう。今後のボランティアセンターの活動を暖かく見守っていただければと思います。

事務局 菅原優子

第80回目 タットン会 7月18日の流れ 於 県立保健福祉大学

8:30 ~ 準備



9:00 受付開始



9:30 ペアになってカード確認
体操、各種目へ



10:20 休憩



10:40 後半競技～(試合又は継続回数に挑戦)



11:10頃 片づけ・モップ、感想カード記入
(手話コーナー)・けがの確認

11:40頃 解散

最後はモップ清掃で、気持ちよく！

《次回 2009年度の予定》

81回目 8/22 82回目 9/26

83回目 10/24 84回目 11/21or28

いずれも、県立保健福祉大学です！

本日の担当者

チーフ・セッティングチェック：青木（県大生）

継続受付：県大生・鈴木

新規受付・説明：佐藤・県大生

全てのサポート：県立大学学生・事務局メンバー